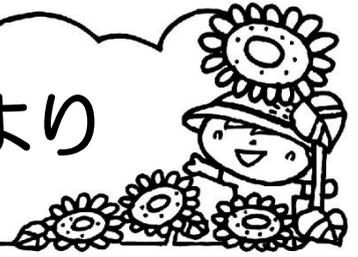




さくらぐみだより

5歳児



R3年7月1日 発行

本格的に梅雨入りし、天候が悪い日が続いています。そんな中、子どもたちは晴れ間に園庭に出て、元気に身体を動かして遊んでいます。

今年度のさくらぐみは、自分の役割を知り、仲間意識を持って一緒に何かをやり遂げる大切さを学べるよう、皆さんもよくご存知のスイミーの話を1年間の保育活動に取り入れていきます。スイミーは、大きな魚に食べられないように、小さな魚達がみんなで協力していくというお話です。さくらぐみ35人が協力して取り組むにあたり、先月はスイミーの絵を題材に模造紙にちぎり絵をしました。さくらぐみ35人で協力して1つの作品を作ることに。そのために9人ずつのグループに分かれ、それぞれのグループが4分の1ずつ担当するという話を話し製作がスタートしました。が、9人で1つのものを作るというのは、想像以上に大変。自分の思っていた貼り方と違う友達と言い合いになりなかなか進まなかったり、作業は進んでいても、それぞれが自分のペースで思い思いに貼っているの、ちぎった紙の大きさがバラバラだったり…。本当に様々な子ども達の姿が見られました。

先月のねらいは『集団で話を聞き、行動に移す』でした。姿だけを見ると、ねらいは出来ているように感じます。実際この活動中も、「どうやって作ればいい?」と聞くと「協力して作る!」と得意気に答える子がたくさんいました。しかし、協力するためにはどうすればいいのかというところは曖昧で、結果「みんなでちぎり絵をする」という行動だけになってしまっている子が多かったように思います。『話を聞く』ということは、ただ単に音を耳に入れるだけではありません。聞いたことを理解し、考えるということが必要です。「協力するにはどうすればいい?」等保育者が丁寧に話を聞いていくと、子ども達も考え始め「もっとこうしたらいいんじゃない?」と提案したり、「小さくちぎった方がきれいに見える」と気づいて友達に教えたり、子ども同士でやりとりする姿が見られるようになりました。

この『聞く力』は就学後、とても大切な力になります。ご家庭でも、お子さんとやりとりをする際に、子ども自身が考えることができるやりとり(例:おかずや果物等を取り分ける時に、目分量で分けるものやあえて割り切れない個数を用意し、どうするのかを子どもに考えさせる。等)をしてみてください。子どもが助けを求めた時は、ヒントを出したり、一緒に考えることはしても、子どもが最後まで自分で考えることが大切です!

園でも今月はこの『考える』ということ意識して、様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。

7月のねらい

- ・話を聞き、考えてから行動する。
- ・身体を使って様々な動きを表現してみる。

7月うまれのおともだち

おたんじょうび

おめでとう!

<活動予定>

- ・散歩(近隣の公園、ゴミ拾い等) ・製作
- ・クッキング ・コーディネーショントレーニング
- ・体育指導 ・プール、水遊び

